第 2018-17 号

恵みと真理のニュース

2018 年 4 月の五次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

神様が信仰生活の手本になるすばらしい方々に会えるようにしてくださり、見習うようにしてくださいました

私は恵みと真理教会のヨンイン聖殿で区域長と小等部の教師として奉仕しています。５月の子供の主日と先生の日に控えて、私がイエス様を信じる尊い信仰を持つようになって、今日まで福ある信仰生活をするように助けて導いてくださった方々を考えます。多くの方々がいらっしゃいますが、特に記憶に残っている３人がおられます。忘れられない方々、私にとって思い出になる霊的な先生になってくださった方々です。
まず、思い出す方は母方の祖母です。私はキリスト教の家庭で生まれ育ちました。教会の庭で遊んで宣教幼稚園で声高く賛美したのが幼いごろの記憶です。どんな問題もなく良く育つところに父親の事業の失敗によって私は母方の祖母と一緒に暮らすようになりました。祖母の性品はとても慈愛に満ちていて、愛が多かったです。何より信仰が篤実でした。
祖母は主日になると朝早く起きてアイロンをしたチマチョゴリを着てから、私の三人の姉妹の髪をきれいにすいてくださって、教会につれて行きました。私たちが神様に捧げる献金も忘れずに白い封筒に入れて渡しました。そして、一日も休まずに夜９時になると神様に祈った後、寝かせました。誰よりも聖書を読んで賛美歌を歌い楽しんでいた祖母は勧士になってもっと熱心に教会と聖徒を仕え伝道する生活をして、９１歳なった日に明るい顔で天国に召されました。祖母は私にイエス様を信じ相変わらず愛して仕える人がこの世で一番楽しくて幸せな人であることを教えてくださいました。
二番目に思い出す方は　小学生の時教会の先生です。引越ししてから通うようになった教会で愛が溢れた先生が私の担任になりました。先生は主日の朝は家の前に来て“ウンソンちゃん教会に行こう。”と呼びました。先生のおかけで私はいくら疲れても朝寝坊をする事が出来ませんでした。呼ぶ声を聞かないふりをすると大きい声で私が家から出るまで私の名前を呼びました。私がいやな顔をしても、雪と雨が降っても相変わらなかったです。教会学校で賛美する時、大きい声で賛美し、聖書勉強時間に習う聖書の聖句も必ず覚えさせました。
幼い頃は先生の関心と教えがたまには面倒で負担になる時もありました。しかし、先生の熱情と愛のおかけで早く主日礼拝が習慣になり、礼拝をする時、心と思いを尽くして捧げるようになりました。そして、生きながら苦しくて大変な事があると熱心に神様に祈り御言葉を覚えるようになりました。
三番目に思い出す方は　わが教会の首区域長です。
思春期に私は教会を離れて生活しました。熱心に仕えた教会で問題が出来て徳にならない言葉と行動を見て心に大きく傷つけられ母の誘いと祈りにも聞かず、しばらく教会を離れました。しかし、私の心ではいつも神様がおられました。今考えると高慢な心でしたが、当時には後でよい教会で熱心に信仰生活すればいいだろうと神様が理解してくださると考えました。どころが、一度神様の懐を離れたらなかなか教会に通うのがやさしくなかったです。
大人になってイエス様を信じる家庭で育った旦那と結婚しました。新婚のはじめに子供を妊娠するようになって感激した旦那と私は熱心に信仰生活をして生まれる子供のため祈りを決心しました。祈りながら教会を探すうちに神様の摂理で同じアパートに住んでいる方を知るようになって、その方の助けで恵みと真理教会に通うようになりました。
いつも徹底に聖書的で福音的で論理的な説教を聴くたびに恵みと真理で満たされる当会長の牧師の説教はまるで蜂蜜ようでした。恵み言葉は聖霊の雨になり今まで切なかった私の心を満たしてくださいました。喜びと感謝の涙で礼拝を捧げました。その時私の家庭が属した区域を担当した首区域長が大きく記憶に残る信仰の先生です。
幼い息子が痛くて教会の礼拝に参席できない日は、区域長が私の家に来られ礼拝を導いてくださり、その日、当会長の牧師の説教を要約して代わりに伝えてくださいました。そして、普段も聖徒として持つべき教養に助けられる良い話をしてくださいました。“姉妹はきっと神様に尊く用いられると思うよ。”と祝福する話もよくしてくださいました。
長い時間が経った今も、たまに私が主の事に疎かで怠惰になろうとするときはその首区域長が仕えた姿と私に話してくれた祝福の話が思い出して反省するようになります。神様はその後も大変な事があったり喜び事がある時、信仰の手本になる方々を通して私に慰めと勇気を与えて喜びを共に分かち合って倍になるようにしてくださいます。
私は教会学校の教師として１０年間奉仕をしながら小学生を仕えています。この時代の希望である子供たちを主の愛で見守って主の御言葉で指導する聖なる教師の使命を与え献身するように導いてくださる神様の恵みに感謝します。私が良く信仰生活をするように今まで見守って導いてくれた方々の愛と献身を見習って職分をよく担えるように努力しています。
主があなたを祝福し、あなたを守られるように。 主が御顔を向けてあなたを照らし／あなたに恵みを与えられるように。 主が御顔をあなたに向けて／あなたに平安を賜るように。（民数記６：２４～２６）　アーメン
毎日毎瞬間、私と共におられさまざまな模様で多様で豊かな救いの恵みを与えてくださる神様に感謝賛美捧げます。これから主が私に下さる義の冠を思い熱心に福音を伝え主のことに力を尽くします。

［信仰コラム］　お祈りする聖徒が経験する三種類の変化

"...わたしに呼び求めよ、そうすれば、わたしはあなたに答える。そしてあなたの知らない大きな隠されている事を、あなたに示す。"（エレミヤ書３３：２，3）

お祈りするためには必ず整えるべきの基本的な要素が二つあります。お祈りをお聞きなさる神様がおられるのを信じることとイエスキリストの御名で父親でおられる神様に祈祷するのです。神様はイエスキリストを信じる人々の父親になります。そして子の祈祷に応答してくださいます。お祈りすることで経験する三種類の変化について調べてみます。
第一、神様が私達のお祈りをお聞きなさり、ある対象に対する御自分の態度と意向を変えられる場合を調べてみます。
神様の本質と品性は永遠に変わりません。しかし、何かを叶えて実行しようとなさる神様の思いは変わり得ます。しかし被造物によって強制されて変わることは決してありません。ただ、神様の義と愛によって自ら思いを返らす場合があります。私達のお祈りをお聞きなさり神様が態度と意向を変えられてくださいます。
モーセと関連した事件でその例を探すことができます。モーセがシナイ山に登って神様から律法を受けている間、山の下にいる民達は堕落して金の子牛偶像を造って崇拝する罪悪を犯しました。神様はこの事件についてモーセに知らせた後、彼らを尽滅させる計画を宣言なさいました。するとモーセは仲裁祈祷をしました。神様の約束はお祈りの基盤になります。モーセは神様の品性と神様の名誉、神様の言約を立たせながら訴えました。モーセの懇切な仲裁祈祷によって神様が思いを返らせ、イスラエルの民に下すと言われた災いを下しませんでした。神様が人のお祈りをお聞きなさり御自分の態度と意向を変えられたという事実は私達に深い感動と共に神様に訴える祈祷ができるよう胆力を得させます。
第二、お祈りは良くない性格と考え方そして、悪い言語習性を変化させます。
人の性格や考え方には先天的なことと後天的なことがあります。先天的なことは遺伝によることなので変化されるのが容易くありません。後天的なことは他の人から影響を受けたり、習慣によって生じたことであり、これも痼疾化されたのは変化されるのが容易くありません。良くない性格と考え方と言語習性が変化されない理由は確かです。これを自ら弁護して変化を願わないからです。努力して相当な変化があっても再び元の状態に返るからです。完全に変化されるまでは絶え間ない努力が必要です。神様の助けを受けなければなりません。聖霊の実が結ばせるためにすべきことがお祈りです。自分の良くない性格と考え方と言語習性を神様に告白して変化してくださるよう懇切にお祈りすべきです。神様はこのようなお祈りを善に扱ってくださり助けを施してくださいます。
第三、お祈りは当面した問題と混乱な状態を有利で有益な状況に変化させます。
使徒パウロが伝道旅行の途中にピリピで悪霊につかれた占い者を癒してあげると金儲けの手段がなくなった主人が怒り、パウロとシラスを官員に連れていきました。官員達はパウロとシラスの服を裂いて脱がせ、むちで打った後に獄に閉じ込めました。しかし、12 時ぐらいになりパウロとシラスはお祈りしながら神様を賛美しました。その時、獄の場が動いて門が開かれ縛られたことが全て外れました。罪囚が逃げたと判断して自殺するため剣を出した看守が福音を受け入れて看守と全家族が洗礼を受けました。官員達が直接来て丁寧に話しながらピリピを去ることを懇々と求めました。
パウロとシラスは極限な状況でお祈りしました。彼らのお祈りは神様の権能がそこに臨むようにしました。状況は劇的に反転されて変化されました。
皆さんは、積極的にお祈りしてください。熱烈にお祈りしてください。忍耐を持ってお祈りしてください。そうしてこの三種類の変化に対する体験が皆さんの一生を通じて日増しに累積されるよう祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

悔い改めと赦しの聖書的理解と適用

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人類の文明の発展は累積されている知識によったものです。しかし、すべての知識をみんなが有益なものと断定することはできません。人は彼の知識を何の目的でどのように使用するかに応じて、その知識が有益なこともなりますし。知識が弊害の原因になるかもしれないが　無知は、もより大きな弊害をもたらします。無知に劣らず有害なものが誤解です。誤解とは間違っ理解を意味します。また、誤解と真実ではないことを真実だと知っていることを意味します。もっとも悪くて有害な無知と誤解は聖書の御言葉に対する無知と誤解です。救いに関連するのはなおさらです。悔い改めと赦しは、救いと関連しています。悔い改めと赦しの無知と誤解は信仰生活の全般にわたって弊害を引き起こします。今日は悔い改めと赦しについて見てみましょう。

第一に、自分と神様との関係で必ずあるべきで体験しなければならない悔い改めと赦しについて説明します。

悔い改めは救いを得るのに必要不可欠な要素です。誰も悔い改めしなくでは救わ
れません。イエス様は、自分がこの世に来られた目的に対して言われたのを**「イエス は 答えて 言われた， 「健康な 人には 醫者はいらない． いるのは 病人である． わたしがきたのは， 義人を 招くためではなく， 罪人を招いて 悔い改めさせるためである」（ルカによる福音書 5:31、32）**しました。神様から罪の赦しを受け、救いを得させる悔い改めが何かを知るには、聖書を調べてください。悔い改めと赦しを知られてくれる比喩と実際の事件が、聖書いくつかの場所で記録されています。その中で凶悪な犯罪人が悔い改めて、すぐに救いを得ることになる場面が詳しく描写されている事件を見てみましょう
イエス様が十字架にかけられた時、その左右にも十字架が立てられました。そこには凶悪な強盗の犯罪人 二人もかけられました。その中の一り犯罪人は、イエスを冒涜して言った、**「十字架にかけられた 犯罪人のひとりが， 「あなたは キリスト ではないか． それなら，自分を 救い， また われわれも 救ってみよ 」と， イエス に 悪口を 言いつづけた． もうひとりは， それをたしなめて 言った， 「おまえは 同じ 刑を 受けていながら， 神を 恐れないのか．お 互いは 自分のやった事のむくいを 受けているのだから， こうなったのは 當然だ． しかし， このかたは 何も 悪いことをしたのではない 」．そして 言った， 「イエス よ， あなたが 御國の 權威をもっておいでになる 時には， わたしを 思い 出してください 」．イエス は 言われた， 「よく 言っておくが， あなたはきょう， わたしと 一緒に パラダイス にいるであろう 」（ルカによる福音書 23：39~43）**としました。二人の犯罪人が言った言葉は、いくつかの単語に過ぎないが、イエス・キリストについて、それぞれの心の中に持っている考えが確実に表明された。そして数時間後、二人の魂は、それぞれ別の世界に行きました。 一人の犯罪人は、黄泉に行った別の犯罪人は、楽園に行きました。楽園に行った犯罪人は、死ぬ直前に救いに至る悔い改めをしました。その犯罪人は仲間の犯罪人に向かって「あなたは同じ罰を受けていながらも、神を恐れていないか？」と非難したのは、今の自分は神を恐れているという事実を教えてくれます。神を恐れるようになった犯罪人は、自分が罪人であることを認めて告白しました
彼は他の犯罪人に「我々は行ったことにふさわしい罰を受けるのだから当然だ。」と言いました。公義でさばかれる神を恐れることと、自分が罪人であることを知っているだけでは救われません。イエス・キリストを知るまでは、完全な悔い改めに至ることができません。彼はイエスが彼らのように、十字架にかかったが、彼らのように罪を犯したことがないという事実を知っており、イエスは完全に義なる方であることに気づいた。彼は声を出して言いました。「この方は何も間違ったことがない。」彼はイエスに向かって、「イエス様、主よ　主の国に入って行く時に私を覚えてください」と祈りました。イエスは、悔い改めた強盗の犯罪人に答えて ″私は本当にあなたに言う、きょう、わたしとともにパラダイスにいる。」としました。この言葉は、罪の赦しとあわせて、彼に天の門を開いてくださいました。
私たちは、このような感動的で恵みの場面を通して主イエス・キリストによる救いがどのような豊かであり、また、単純な明瞭であるかを悟ることができます。救いの恵みと真理は悔い改めと赦しが重要で核心です。イエス様が罪人のために代わって十字架につけられ死なれたので、罪人が悔い改める道が開かれたものです。自分が絶望的な罪人であることを認めて、イエス・キリストだけが救い主であることを信じて受け入れることが救われる悔い改めです

第二に、自分と他の人との関係での悔い改めと赦しについて説明します。

ペテロがイエスに質問することを**「そのとき， ペテロ が イエス のもとにきて 言った， 「主よ， 兄弟がわたしに 対して 罪を 犯した 場合， 幾たびゆるさねばなりませんか． 七たびまでですか ．イエス は 彼に 言われた， 「わたしは 七たびまでとは 言わない． 七たびを 七十倍するまでにしなさい」しました。（マタイによる福音書 18：21,22）**イエスの言葉は、数に限定せずに赦しなさいという意味です。告白して悔い改めと無制限に赦さなければなりません.
イエスは続いて赦しと関連して、このような話をしました。王に一万タラントの負債を帳消しにされたしもべが自分に百デナリを借りた仲間を厳しく扱った物語です。一デナリは、当時の成人男性の一日分の賃金です。一タラントは6,000 デナリです。だから一万タラントは 6000 万デナリです。一万タラントの百デナリは 6 万対 1 です。分かりやすく比較して説明すると、王に 6 千億ウォンの借金を帳消しにされた者が帰りに自分に百万ウォンを借りた仲間に会って胸ぐらをつかんで振って借金を返せと怒鳴りたら同僚がひれ伏して懇願するのを時間を与えると返済するので待ってくださいとしました。それでも、その仲間を刑務所に閉じ込めました。これを見た他の同僚がその事実を王に告発しました
王がその者を呼び入れて、「悪い僕よ、あなたは私に懇願するので私はあなたに借金をすべて免除してくれた。その後、私はあなたに慈悲を施したようにあなたもあなたの同僚に慈悲を施すではないか？」として刑務所に閉じ込めました。天国で生きる人は、赦しを施す人にならねばならないことです。自分がイエスキリストにあって神から赦されたことを考えると許さないことはありません。

この言葉を適用する場合において誤解しないようにします。邪悪な者の悪行を傍観することが許すではありません。そんな悪事をしないように適切な対処をする必要があります。聖徒が教会に害を覆わ事をする場合に適用する指針がマタイによる福音書 18 章に記録されています
イエス様が言われています。**「もしあなたの 兄弟が 罪を 犯すなら， 行って， 彼とふたりだけの 所で 忠告しなさい． もし 聞いてくれたら， あなたの 兄弟を 得たことになる もし 聞いてくれないなら， ほかにひとりふたりを， 一緒に 連れて 行きなさい． それは， ふたりまたは 三人の 證人の 口によって， すべてのことがらが 確かめられるためである もし 彼らの 言うことを 聞かないなら， 教会に 申し 出なさい． もし 教会の 言うことも 聞かないなら， その 人を 異邦人または 取税人同様に 扱いなさい．（マタイによる福音書 18：15～17）**。教会は、教会を損なう者を懲戒する責任があります。
他の人から不当でくやしいことを受けた場合に適用する指針がルカによる福音書 17 章に記録されています。イエス様が言われています**「あなたがたは， 自分で 注意していなさい． もしあなたの 兄弟が 罪を 犯すなら， 彼をいさめなさい． そして 悔い 改めたら， ゆるしてやりなさい．もしあなたに 対して 一日に 七度罪を 犯し， そして 七度『悔い 改めます 』と 言ってあなたのところへ 帰ってくれば， ゆるしてやるがよい 」（ルカによる福音書 17：3,4）**
被害を受けた相手に間違ったことを遺憾を言っていない者を許すことは悪を助長することになります。人間関係での赦しは加害者が被害者に自分の誤りを認め、赦しを求めなければならないし、被害者は、赦しを求める者に寛大に赦してください。加害者が自分の過ちを認めて赦しを求めるだけで、被害者が容認すればそれによって終結されるがそれ以外の場合、加害者は、被害者に与えられた苦痛と損失について取り組んで補償しなければなりません
悔い改めがない赦しは神の国の法律ではありません。イエスの愛とあがないの恵みは、悔い改める人だけを対象とします。そしてこの世で生きている間だけ、悔い改める機会が与えられます。結局悔い改めない者は地獄の刑罰を受けることになります。人間関係でも悔い改める機会や赦す機会を逃して後悔しても無駄ない時が近づいてきます。神の赦しを受けて救われる悔い改めをした人は赦された喜びと天国の望みを持って生きて行きます。人間関係で聖書どおり悔い改めて赦しを実践する人は心が愉快で安しくなります。これは悔い改める人と赦している人に与える、神様の贈り物です

皆さん、みんなが聖書のとおり悔い改めて赦してから救いを得る聖徒になるのを願います。そして人間関係でも、聖書の通り悔い改めてまた赦すのを積極的に行ないしてください.